

<報道関係各位>

ふるさと祭り東京2016ー日本のまつり・故郷の味ー

約43万人が来場！第7回全国ご当地どんぶり選手権では『八戸銀サバトロづけ丼』がグランプリに！

開催期間：2016年1月8日(金)～17日(日)【10日間】

ふるさと祭り東京実行委員会は、1月8日(金)から17日(日)までの10日間、東京ドームにて、全国各地に伝わる伝統の‘祭り’や‘ふるさとの味’が一堂に会した『ふるさと祭り東京2016ー日本のまつり・故郷の味ー』を開催し、過去最多となる**429,790**人のお客様にご来場いただきました。

最終日の17日(日)には、「第7回全国ご当地どんぶり選手権」の結果発表・表彰式を開催しました。今回本戦出場の全15どんぶりのうち、見事2016年のグランプリに輝いたのは青森県の「八戸銀サバトロづけ丼」、準グランプリ(第2位)は鹿児島県の「志布志発 かがしま黒豚三昧」、第3位は北海道の「十勝牛とろ丼」でした。第4位は北海道の「函館朝市漁り火がごめ丼」、第5位は福井県の「越前！蟹丼ぶり」。この上位5どんぶりには次回の全国ご当地どんぶり選手権のシード権が与えられます。なお、グランプリには賞金50万円+副賞、準グランプリには賞金30万円+副賞、第3位には賞金10万円+副賞を授与しました。

今回初めてグランプリを受賞した「八戸銀サバトロづけ丼」の、日本で唯一のサバ料理専門店サバの駅 沢上弘さんは、「4回目の挑戦で、念願のグランプリを獲得することができました。八戸のサバの美味しさが、食べていただいた皆様に伝わって本当に良かった。北海道新幹線で函館へ行く前に、八戸に立ち寄って本場の味を食べてください。」と喜びを語りました。

また、会期中、<能代七夕「天空の不夜城」><青森ねぶた祭>をはじめ、<秋田竿燈まつり><高知よさこい祭り><沖縄全島エイサーまつり>など全国各地のお祭りが会場内で山車の運行や演舞を披露し、「ふるさと祭り東京」から元気と活気を発信しました。

ふるさと祭り東京実行委員会 岩村直道事務局長は、「日本のすばらしい文化であるお祭りやご当地の味を、10日間で非常に多くのお客様にご紹介することができました。このふるさと祭り東京でお楽しみいただいたお祭りや本場の味を、ぜひ今度はそれぞれのご当地へ足を運んでいただき、体感していただけると幸いです。」と語りました。

本年度8回目の開催となりました「ふるさと祭り東京ー日本のまつり・故郷の味ー」は、皆様のご期待にお応えし、2017年も開催の予定です。今後ともご期待ください。

<第7回全国ご当地どんぶり選手権・結果>

【グランプリ・観光庁長官賞】



八戸銀サバトロづけ丼

日本で唯一のサバ料理専門店
サバの駅(青森県)

【準グランプリ】



志布志発 かがしま黒豚三昧

志布志いい肉食べさせ隊
(鹿児島県)

【第3位】



十勝牛とろ丼

(株)円らく
(北海道)

※全国ご当地どんぶり選手権は、お客様がどんぶりを食べた後に、気に入ったどんぶりに“コイン”を投票していただき、順位が決まります。